

平成22年度 津市まちづくりレポートの概要

まちづくりレポートとは

市では、各重点プログラムに位置付けられた施策の内容ごとに、進行管理と評価を行う「政策評価」を行っています。この政策評価を基に、事業の取組実績や今後の取組を分かりやすく公表するため、「まちづくりレポート」としてとりまとめました。

このまちづくりレポートの概要では、各重点プログラムのプログラム構成ごとに、平成20・21年度の2カ年の主な取組実績をまとめた内容としています。

重点プログラムの取組状況

プログラム名		プログラム構成	平成21年度までの主な取組実績
1 まちづくり戦略プログラム	①未来を拓く都市空間形成プログラム	1 新都心軸の形成 2 副都市核の整備 3 産業拠点を中心とした企業立地の促進と産業の高度化 4 広域交通ネットワークの形成	・津なぎさまち、中心市街地（津城跡及びその周辺地区）、津インター周辺地区の3つを新都心軸と位置付け、形成について必要な調査研究を実施するとともに、藤堂高虎公入府400年記念事業を展開し、お城を中心としたまちづくりの機運を醸成 ・民間資金活用型事業プロポーザル方式により民間の事業推進者を募集し、優先交渉権者を決定し事業を推進 ・企業誘致に努め、中勢北部サイエンスシティにおいては、分譲率約80%を達成 ・中勢バイパスをはじめとする幹線道路について事業促進に努めるとともに、地域公共交通総合連携計画を策定し、市内コミュニティバスの新たな運行案を取りまとめ
	②自然の恵みの価値創造プログラム	1 豊かな自然の恵みを次世代に引き継ぐための取組 2 森林セラピー基地の整備 3 山から海まで河川流域の一体的な取組	・有害鳥獣による農林産物の被害防止対策を進めるとともに、地域農業基盤創生事業により地域農業振興の取組を支援 ・地域かがやきプログラムと連携し、8つの森林セラピーコースを設定し、案内看板、休憩施設等を整備 ・市民団体である新雲出川物語推進委員会が設立され、河川流域の各地域間の交流をテーマとした活動を展開
	③海に開くまちづくりプログラム	1 津なぎさまちの整備 2 魅力ある津の海の環境整備 3 漁港等の整備	・みなとまちづくりの機運を高めるため、津なぎさまちを会場に、市民との協働によるイベント等を開催 ・国のふるさと海岸整備事業により、平成23年度の完成を目途として、贄崎工区の整備を促進 ・白塚漁港の静穏度を高めるための南防波堤の延伸事業を推進するとともに、香良洲漁港の航路の浚渫を実施
	④持続可能な地域形成プログラム	1 森林・自然アカデミー事業の推進 2 市民版環境マネジメントシステムの普及促進とごみ減量化 3 新最終処分場の建設 4 津エコビレッジ（仮称）の形成促進	・「森林・自然アカデミー実施計画」を策定し、三重大と連携し、演習林施設を活用した事業を実施 ・「生活かえる！エコエコ家族」事業など市民版環境マネジメントシステムについて、小学校の授業や広報紙への掲載、津まつりへの出展等で普及を促進 ・美杉町下之川字高山・西狭間地内を建設地として決定し、基本協定を締結するとともに、「津市新最終処分場等施設整備基本計画」を策定し、用地の調査、測量等を実施 ・木質バイオマスの利活用について、素材としての活用及びエネルギー源としての活用の両面の検討を実施
	⑤歴史と文化の拠点形成プログラム	1 一身田寺内町の町並み保全と活用 2 多気北畠氏城館跡周辺地区の保全と活用 3 津城跡（お城公園）周辺地区の整備と活用 4 千歳山の保全と活用 5 文化芸術の拠点性の向上	・道路のカラー舗装、ガードパイプ等の修景整備、環濠導水整備等を実施し、周辺景観と調和した環境を整備 ・史跡である多気北畠氏城館跡を適切に保存管理していくため、「多気北畠氏城館跡保存管理計画」を策定 ・津市文化財保護審議会等の専門家による指導のもと、関係所管との調整を行い、保存管理計画を策定 ・基本構想の策定に向け、津市千歳山を考える会を設置し、整備の方向性や市民参加による管理のあり方等を検討 ・三重県が検討を進める新しい博物館の本市への整備を要望し、本市が建設予定地として選定
	⑥健康とスポーツの振興プログラム	1 まち歩き（ウォーキング）による健康づくりの促進 2 地域特性を活かしたウォーキングコースの設定と全国規模の大会開催 3 健康づくりやスポーツ振興に取り組むための地域のネットワークづくり 4 総合的なスポーツ施設の整備	・各地域の健康づくり推進員主催のウォーキングを平成20年度は6回、平成21年度は7回開催 ・まちの魅力を実感できる「まち歩きコース」13コースを設定するとともに、森林セラピーロードとして8コースを設定 ・津市体育協会において、スポーツ指導者のボランティアによる指導者部会を立ち上げ、スポーツ指導者の育成を促進 ・スポーツ施設全体の整備方針と総合的な屋内スポーツ施設整備の基本的な方向性を示す「スポーツ施設整備基本構想」の策定を推進

プログラム名		プログラム構成	平成 21 年度までの主な取組実績
2 元気づくりプログラム	①住みやすさ向上プログラム	1 支え合いによる暮らしの安心づくり 2 市民主体の環境活動の推進 3 地域の消防防災力の向上	・地域ネットワークの構築による支えあいの輪を広げるため、地域と協働したマップづくりやグループ募集などを実施 ・市民団体による市民エコ活動センターの運営のもと、エコ講座やホームページ開設など、市民主体の環境活動を促進 ・消防防災指導センターを設置し、2カ年で延べ600回以上、47,000人以上の市民を対象に訓練指導を実施
	②元気な人づくりプログラム	1 地域連携センターの設置と地域貢献の推進 2 地域の学びの拠点づくり 3 津市げんき大学の活動促進	・三重短期大学に地域連携センターを設置し市民を対象とした、食と健康を考える講座などを実施するとともに、産学連携、高大連携及び市政との連携を推進 ・地域の人々に学習ボランティアとして参画していただき、子どもたちとの交流会などを実施 ・「うなぎプロジェクト」や「津ぎょうぎプロジェクト」を支援し、津市への誘客、活性化を促進
	③若者定住プログラム	1 魅力ある産業の育成と雇用の場づくり 2 子育てをしやすい環境づくり	・中勢北部サイエンスシティ内に産業振興センターを設置するとともに、市内企業の研究開発並びに人材育成・確保の支援、起業家等の育成、地域資源や知的財産の活用を推進 ・「津地区次世代育成支援行動計画」に基づき、発達支援、虐待予防など、子どもの成長に応じた途切れのない子育て支援に取組
	④交流による活力創造プログラム	1 まち歩きシステムの整備 2 観光サービスの充実と広域連携の強化 3 交流人口100万人の創出をめざした取組	・計13カ所のまち歩きコースを設定するとともに、それらを結合するループバスを運行し、延べ8,639人が利用 ・本市の観光のあるべき姿、進むべき方向性を示す「津市観光振興ビジョン」を策定し、取組を推進 ・津まつりや久居まつりなどの充実や、コンベンションの開催支援、森林セラピー事業など新たな交流を促進
	⑤津らしさ実感プログラム	1 藤堂高虎公入府400年を契機とした文化のまちづくり 2 地域ブランドの確立 3 シティプロモーションの仕組みづくり	・藤堂高虎公入府400年記念事業を展開し、延べ95万人が参加したほか、シロモチくんの館を開設し情報を発信 ・藤堂高虎公啓発事業として、高虎公を顕彰する各ボランティア団体と案内所の設置に向けた協議をはじめ、周遊コースづくり・情報交換などを目的とした勉強会・講演会を実施 ・津市農林水産物等ブランド化推進協議会を設立し、ブランド化推進品目候補の選定等に向けた検討を実施 ・「食彩フェスタ in つ」を開催し、広い市域で作られている豊富で良質な「津の食」の良さをPR ・コンベンションの開催支援や、フィルムコミッションと連携した撮影の誘致活動、ロケに対する協力・支援を実施
3 地域かがやきプログラム	①東部エリア ～キラリと輝く人づくり・まちづくり～	1 知の拠点としての情報発信 2 地域を担う人づくり 3 地域連携による交流の推進	・あのつピアにおいて、「生産性向上セミナー」や「メカトロセミナー」を開催し、技術交流等を促進 ・地域のブランド情報を発信かつ販売できるインターネットサイト「津eネットショップ」のシステムづくりを推進 ・地域における人づくりを進めるため、「地域リーダー養成塾」、「津市民大学あのつアカデミー」などの講座を実施 ・「一身田寺内町ガイドマップ」や「一身田寺内町シネマップ」を作成、配布し、観光拠点としての魅力を向上 ・香良洲町の宮踊りや獅子舞など、伝統行事を活かした賑わいの空間の創出を支援
	②北部エリア ～都市や自然と共存するふれあいの里づくり～	1 スポーツ・レクリエーション活動の促進 2 地域産業振興の拠点づくり 3 自然と親しむ環境づくり	・あのうスポーツクラブと連携した各種スポーツ大会や教室の開催で、身近にスポーツを楽しめる環境づくりを推進 ・石山観音公園や長野峠周辺への案内看板の設置などによるウォーキングコースの整備 ・北部エリアの観光資源を巡る6つの観光モデルコースを創設し、パンフレット等により地域資源をPR ・経ヶ峰ハイキング参加者にヤマザクラ、コナラ等の植樹をしていただき、健康増進を図るとともに、自然景観の保護及び環境保全に対する意識を醸成
	③中部エリア ～“みのり”と“ぬくもり”の郷づくり～	1 温泉リフレッシュゾーンの魅力アップ 2 食のブランド化 3 地域力の維持、再構築	・榊原温泉への道路沿いで「花街道景観整備事業」などを行い、美しい農村景観づくりを推進 ・初瀬街道を中心としたウォーキングルートを設定し、記念スタンプの設置やイベントの開催を通じてPR ・古代米の収穫時期にあわせ、「榊原温泉 秋の収穫祭」を開催し地元農産物をPR ・農林水産業や地産地消への理解を深めるため、一志地域の子どもを対象に「地産地消子どもの元気づくり事業」を実施 ・地域住民により地域の歴史、文化などを紹介するため、既存のボランティアガイドや新たな団体の設立を支援
	④南部エリア ～健康で暮らせる自然と歴史の地域づくり～	1 健康で元気な人づくり 2 自然の恵みの価値創造 3 歴史と文化の拠点の整備	・集落機能再生「きっかけづくり」推進事業を実施し、地域住民が自ら考え、行動する機運づくりを醸成 ・三重県立一志病院との連携により、効果的な住民の健康づくりを推進 ・森林セラピーコースとして8つを設定、案内看板等を整備するなどして、森林セラピー基地をグランドオープン ・空き家情報バンクを整備するとともに田舎暮らし体験塾を実施し、二地域居住を推進 ・史跡である多気北畠氏城館跡を適切に保存管理していくために必要となる方針等を定める保存管理計画を策定 ・伊勢本街道において、案内板、のれん及び屋号看板の設置など、地域住民と一体となった取組を推進